

探求学習技能教育 亀早モデル 亀田西小学校版

新潟市立早通小学校／新潟市立亀田西小学校／新潟市立亀田西中学校
図書館教育部

《文科省 情報活用能力調査(令和3年度) 結果より》 全ての学校において、各教科等の授業や日常の様々な場面で情報活用能力の育成を意識し、問題の発見・解決等のために、児童生徒が主体的に情報機器を用いて情報収集、整理・分析、発信する等の活動を行い、児童生徒自身が情報活用能力の重要性や必要性を実感しながら活動することが重要 (P.154 情報活用能力育成に向けて) 《文科省 情報活用能力育成のための アイデア集より》 情報活用能力の育成のためには、教科等横断的な学習を充実することや、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して行うことが求められます (P.3 どのように情報活用能力の育成を進めるか)	《中学校区の目指す児童生徒の姿》 たくましく 心ゆたかに みずから輝く 児童生徒	《児童／生徒の実態》 ・自ら課題を設定することを苦手とする児童が多いが、学習の題材に対してある程度の資料を用意して選択肢を与えると、その中から自が探求したい課題を見つけることはできる。 ・資料や情報の収集の技能には個人差があり、課題に対する検索のためのキーワードを思いつけない児童がみられる。 ・ロイロノートでシンキングツールを活用して授業をしているクラスが多く、児童も情報の整理・分析をするためのツールの使い方には慣れている。 ・整理・分析ツールの活用により、まとめや授業で設定した方法での発表は問題なくできる。
--	--	--

凡例 「◎」指導項目 「◇」内容 「＊」例示

《校区の各学年の目標》					
		低学年	中学年	高学年	中学
探求学習技能	課題の設定	◎課題をつかむ ◇教材学習の題材、日常生活の気づきから考える ◇見学や体験での気づきから考える ◎探求計画を立てる ◇テーマ設定の理由を考える	◎課題をつかむ ◇学習の題材、日常生活の気づきから考える ◇見学や体験での気づきから考える ◇課題について話し合う ◇思考ツールの種類を知る ◎探求計画を立てる ◇調べる方法を考える ◇探求の見通しを持つ ◇テーマが適切かどうか考える ◇テーマ設定の理由を書く	◎課題をつかむ ◇学習の題材、日常生活での興味関心から考える ◇思考ツールを使用する ◇大テーマから中・小テーマを設定する ◎探求計画を立てる ◇調べる方法を考える ◇探求の見通しを持つ ◇テーマ設定の理由を書く	◎課題を設定する ◇課題設定の理由を文章で書く ◇目的に合った思考ツールを使う ◎探求計画を立てる ◇調べる方法を考える ◇探求の見通しを持つ
	情報の収集	◎学校図書館の利用方法を知る ＊図書館のきまり ＊学級文庫のきまり ＊本の借り方・返し方 ＊図書の分類の概要 ＊目次や索引の使い方 ◎学校図書館メディアの利用方法を知る ＊絵本、簡単な読み物、自然科学の本、図鑑 ◎情報の集め方を知る ＊観察、見学、体験 ＊インタビュー ＊図書資料、図鑑 ＊コンピュータ、タブレット	◎学校図書館の利用方法を知る ＊日本十進分類法(NDC)のしくみと配架の仕方 ＊レファレンスサービス ◎公共図書館の利用方法を知る ＊検索の仕方、レファレンスサービス ＊電子図書館 ◎学校図書館メディアの利用方法を知る ＊図書資料、百科事典、辞典 ＊新聞、雑誌 ＊ファイル資料 ＊地域資料、自校資料 ◎情報の集め方を知る ＊観察、見学、体験 ＊ゲストティーチャー、インタビュー ＊図書資料、百科事典、辞典 ＊地図、図表 ＊コンピュータ、タブレット	◎学校図書館の利用方法を知る ＊日本十進分類法(NDC)のしくみと配架の仕方 ＊OPACの利用の仕方 ＊レファレンスサービス ◎各種施設を利用する ＊公共図書館 ＊博物館、資料館 ＊地域の施設 ◎メディアの種類や特性を知り、情報を集める ＊図書資料、参考図書(事典・年鑑) ＊地図、図表 ＊新聞、雑誌 ＊ファイル資料、視聴覚メディア ＊電子メディア ＊人的情報源、見学、観察、実験、体験	◎学校図書館を効果的に利用する ＊分類・配架のしくみ ＊OPAC ＊レファレンスサービス ◎目的に応じて各種施設を利用する ＊公共図書館 ＊博物館、資料館 ＊行政機関 ◎メディアの種類や特性を活かして情報を収集する ＊図書資料、参考図書 ＊地図、年表 ＊新聞、雑誌 ＊ファイル資料、視聴覚メディア ＊電子メディア ＊人的情報源、フィールドワーク
	整理・分析	◎記録の取り方を知る ◇カードやワークシートに書く ◇タブレットやデジタルカメラで写真を撮る	◎記録の取り方を知る ◇情報カードに記録する(抜き書き・要約) ◇タブレットやデジタルカメラで写真を撮る ◇日付や資料の題名・著者名を記録する ◎集めた情報を目的に応じて分ける ◇目的に応じた思考ツールを考える ◎情報の利用上の留意点を知る ＊著作権、引用の仕方、出典の書き方 ＊個人情報の保護	◎記録の取り方を知る ◇ノートや情報カードに記録する(抜き書き・要約) ◇ファイル資料を作る ◇情報機器で文章や写真を記録する ◇日付や資料の題名・著者名を記録し、資料リストを作る ◎情報を比較して評価する ◇複数の情報を比較、考察する ◇必要な情報を選択する ◎情報の利用上の留意点を知る ＊インターネット情報 ＊著作権、引用の仕方、出典の書き方 ＊情報モラル、個人情報の保護	◎情報を記録する ◇ノートやカードに記録する ◇情報機器で記録する ◇情報源を記録する ＊著者、ページ数、出版社、発行年 ＊発信者、URL、確認日 ◎情報を分析し、評価する ◇複数の情報を比較、考察する ◇目的に応じて評価する ◎情報の取り扱い方を知る ＊インターネット情報 ＊著作権、引用の仕方、出典の書き方 ＊情報モラル、個人情報の保護
	まとめ・表現	◎探求したことを相手や目的に応じた方法でまとめ、発表する ＊口頭、絵、文章 ＊絵カード、クイズ ＊紙芝居、ペープサート、絵本、劇 ＊コンピュータ、タブレット ◎探求の過程と結果を評価する(自己評価・相互評価) ◇まとめ方を評価する	◎探求したことを相手や目的に応じた方法でまとめ、発表する ＊文章、新聞、ポスター、リーフレット ＊クイズ、絵本、劇 ＊発表会、展示 ＊コンピュータ、タブレット ◎探求の過程と結果を評価する(自己評価・相互評価) ◇メディアの使い方を評価する ◇調べ方を評価する ◇まとめ方を評価する ◇発表の仕方を評価する	◎探求したことを相手や目的に応じた方法でまとめる ◇集めた情報を整理する ◇調べたことと自分の考えを区別する ◇図表に表す ◇写真や映像、音声を取り入れる ◇資料リストをつける ◎探求したことを相手や目的に応じた方法で発表する ＊展示・掲示 ＊新聞、レポート ＊発表会、実演 ＊コンピュータ、タブレット ◎探求の過程と結果を評価する(自己評価・相互評価) ◇利用したメディア、情報を評価する ◇課題が解決できたかどうかを評価する ◇相手や目的に応じて適切に発表できたかどうかを評価する	◎探求の成果をまとめる ◇相手や目的に応じた方法でまとめる ◇事実と自分の意見を区別する ◇資料リストを作成する ◎探求の成果を発表する ◇相手や目的に応じた発表の仕方を考える ＊口頭、レポート、ポスター、実演 ＊コンピュータ、タブレット、電子黒板 ◇わかりやすく伝えるための工夫をする ＊色づかい、表やグラフ、エフェクト ◎探求の過程と結果を評価する(自己評価・相互評価) ◇利用したメディア、情報を評価する ◇課題が解決できたかどうかを評価する ◇相手や目的に応じて適切に発表できたかどうかを評価する

参考：「情報資源を活用する学びの指導体系表」 2019年1月 全国学校図書館協議会

《亀田西小学校 探求学習技能教育の指導の重点》

課題に対して自分なりの考えをもって探求に取り組む
情報源の種類や基本的な利用法について理解し、課題解決に適した情報を収集できるようになる